

<全体分析>

試験時間 90 分

解答形式

選択式 (用語・地名の選択, 統計判定), 記述式, 論述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・**やや難化**・難化)

大問4題, 選択式・記述式の解答個数は25で, 昨年(21)に比べ増加した。論述式では, 字数指定のあるものが9問(昨年は12問)で, 総字数420字(昨年は440字), 字数指定のないものは6問で, 解答枠1行が4問, 2行が2問(昨年は1行枠のもののみ5問, 解答枠の1行は20~30程度と推定)だった。論述式全体の字数は昨年とほぼ同じである。大問ごとにみると, 字数指定のあるものが, Iで2問(110字), IIで3問(130字), IIIで1問(60字), IVで3問(120字), 字数指定のないものはIで2問, IIで1問, IIIで3問となっている。字数指定のあるものの1問当たり字数は, 最短30字, 最長60字である。難易度は, 題意を汲み取りにくい論述問題が増えた分, 昨年より難化した。

出題の特徴

Iが地形図の読図, IIが自然, III・IVが産業・社会分野からの出題で, 本年度は地誌からの出題がなかった。Iで地形図読図を問うのが, 近年は定着している。他の大問でも, 図表の読み取りを求める設問が多く, 本年度もすべての大問で各種の図表が使用された。

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

特になし。

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	記述式 論述式	地形図の読図	弓ヶ浜 (鳥取県の砂州) の2万5千分の1地形図と衛星写真。地形, 農業中心の土地利用, 農地造成, 集落立地。論述は, (4)地中海側の農地造成の方法 (50字), (5)淡水化事業の目的 (60字), (6)集落立地, (7)輸送園芸。(4), (6)は地形図から読み取りにくい難問。	やや難
II	選択式 記述式 論述式	気候・植生・農業	植生の特色を述べたリード文, 景観写真, 地図。植生帯の特色, 気候, 農業。論述は, (2)熱帯雨林とサバナの降水量の違い, (3)地中海性気候の特徴, (4)海岸砂漠の成因 (50字), (5)プレーリーの気候・土壌・農業 (50字)。教科書に準拠した基本問題が中心。	易
III	選択式 記述式 論述式	国際的金融活動 スラム	世界の金融拠点都市の位置や地位を示す地図, グラフ。スラム人口の国別グラフ。グラフ判定のほか, 論述は, (2)金融拠点の立地条件。(3)アジア, アフリカのスラム人口の特色, (4)途上国の都市のインフラ整備 (60字)。(2)の②は題意がわかりにくく, (4)は解答のポイントを絞りにくい。	標準
IV	選択式 記述式 論述式	観光	国別および日本の旅行収支を示すグラフ。グラフ判定などのほか, 論述は(2)スペイン訪問者が多い理由 (40字), (3)観光で生じた問題 (40字), (4)訪日客の多い国の特徴 (40字)。どの設問も標準的である。	標準

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で, 当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

教科書を利用した基本知識 (地名や用語) の蓄積は当然だが, 論述式への対応として, 基本的な地理用語の語義, 自然や人文現象の地域的な違いとその理由・背景などについて, 簡潔に (20字~100字程度) ポイントを絞って書く練習を繰り返すことが必要である。加えて, 地形図や統計図表の読み取りなど地理的技能や思考力を試す出題が多く, 難問もあるので, 日頃から図表の読解力を高めるよう心がけたい。なお, 「産業構造とその変化」や「都市・人口・交通」のように出題頻度の非常に高いテーマもある。過去問を研究して確かめておこう。